# 15章 総合問題 15

#### 問題

#### [1]

#### 

民主主義の理想は、国民の平等な政治参加だが、どの民主主義国家でも、政治に参加する 国民は一部であり、その声は国民全体を代表してはいない。〔67 字〕

#### 別解

民主主義政治には、国民が平等に参加し、その声が等しく反映されるのが理想だが、実際の民主主義国家で、この理想が実現しているところは一つもない。[70字]

## 

第1段落――第1文が一種の二重否定になっているが、その続きを読むと、これが民主主義の定義のようなものになっている。つまり、国民が政治に参加して、その意見を政治に反映させる仕組みが民主主義だというのである。

第2段落——その政治参加に関する重要なポイントを2つ挙げている。それは国民の明確な意見の表明と、参加の平等だが、ここではそれらは must を使って「~でなくてはいけない」と、理想として述べられているにすぎないことに注意する。

第3段落——先に挙げた理想に関して、政治参加の平等が、アメリカを含め、どの民主主義国家でも実現されていないと、筆者は論じている。選挙の投票や、それ以上の政治参加をする者もいれば、まったく政治に参加しない者もいるからだ。これに続けて、アメリカでの国民の政治参加の実態と政治参加者の社会集団的分析が、例として挙げられている。それゆえ、政治参加を通じて表明される声は一部の層のものであり、国民全体を代表してはいないと、最後に筆者は結論付けている。

ここで、要約する際のキーワードを挙げておく。Democracy(民主主義), citizens(国民), political participation(政治参加), voice(声;民意), equality(平等), ideal(理想), democratic nation(民主主義国家), limited and unrepresentative set of citizens(国民全体を代表しない,一部の国民層)などが挙げられよう。この内,「民主主義」,「国民」,「政治参加」はすべての段落に出てくるので,必ず要約にも含める必要がある。「声」と「平等」も第2段落と第3段落に出てくるので,重要なキーワードだとわかる。

以上より、民主主義の理想を述べた第2段落と、それとは食い違う現実を対比させて述べている第3段落が筆者の最も言いたいことだとわかる。第1段落の民主主義の定義は、第1文の言い方からわかるように、筆者は誰にも明らかなものと考えている。よって、この要約は、第2・第3段落を中心に、国民の政治参加の平等と民意の反映の仕方の理想と現実という形でまとめればよい。第1段落の内容は字数に余裕のある場合だけ、適宜含めればよい。第3段落後半のアメリカの例は最終文を別にして、含める必要はない。

この文章は、3つのパラグラフで出来ている。これもまた、「導入 - 本論 - 結論」という パターンにはなっていない。ディスコース・マーカーはいくつか含まれている。8行目の since は、あとに続く democratic participation also must be equal. (民主主義への参加は等しくなければならない)という主節とのつながりを作っている。

13 行目の In fact, (もっとはっきりと言えば、) は'強調'を示し、証拠となる具体的な事実を導いている。14 行目の In addition, (さらに、) は'補強'を示す。つまり、筆者の主張を支えるために別の論点を付け加えているのである。

これらの表現の意味と用法を理解することはもちろん大切だが、筆者の主張をすばやくつかむための鍵にはならない。この文章を理解するうえでもっと重要なのは、繰り返し使われたり互いに関連したりしている語のつながりを理解することである。例えば、citizen(市民、国民)という語がいろいろな形で10回出てくる。ほかにも、the people(国民)、democracy(民主主義)、participation(参加)など政治制度に関連する表現が、主題およびテーマ上の一貫性つまり考えの論理的な流れを作っている。

文章の流れが大きく変わる場所を見つけようとしているのなら、それは 11 行目の最初の 単語である。これは however、but、nevetherless のようなトランジション・マーカーでは なく、no という簡単な語である。

これをきっかけに筆者は、理想的な民主主義に関する自分の考えを説明することから、アメリカに焦点を当て、現実の民主主義を批判することへと移行している。

この文章の最も大きな趣旨は、国民全体を真に代表していないという、いわゆる民主主義 の失敗を批判することである。

この文章の要約は、理想的な民主主義に関する筆者の見解を簡単に述べ、筆者は民主主義 国家がこの理想に達していないことに対して失望しているという点に重点をおいてまとめる のがよい。

# 

国民が統治の過程に自由に参加することができない民主主義というのは考えられない。民主主義国家の国民は、その活動を通して、誰が公職に就くかを決定したり、政府が何をするかに影響を及ぼそうとする。政治参加は、国民が自分たちの利益や目標や要望に関する情報を伝え、それに応じてもらう圧力を作り出すことができる仕組みを提供する。

発言と平等が民主的な政治参加の中心を成す。まともな民主主義国家では国民の声は明瞭で大きく — 政策立案者が国民の懸念を理解できるよう明瞭で、彼らが、言われたことに注意を払わなくてはいけないくらい大きく — なくてはいけない。民主主義は、国民の利益のための政治的行動だけでなく、国民一人一人の利益への平等な考慮をも意味するので、民主主義への参加もまた平等でなくてはいけない。

平等な参加という理想を実践している民主主義国家は一つも存在しない — 合衆国がその一例であることは明らかである。選挙で投票したり、それよりもっと積極的な形の政治参加をしたりする国民もいれば、そういったことをしない国民もいる。もっとはっきりと言えば、アメリカ人の大多数は、投票以外の政治的活動は全く行っていない。おまけに、実際に政治参加をしている人たちも、重要な点では、国民全体を代表してはいない。彼らは社会的特徴や要望や目標がそれぞれ異なっている。市民活動家はより恵まれた層 — 高学歴で裕福な白人男性 — から、より多く生まれる傾向がある。政治参加を通じて表明される人々の声は、このようにして、限られた、国民を代表はしない一部の国民から出てくるのだ。

#### [2]

## 

- (1) ① his overcoat on
- ② to let me off
- 3 this was no laughing matter
- 4 earlier than we had expected
- 5 get along well

- (2) ① hung
- 2 lying
- ③ lasted ④ led
- (5) spread

# 

- (1) ① 「オーバー(コート)を着たままで」は「付帯状況」を表す with + O + C (O を C の状態にして)の形式を用い、with his overcoat on とする。
  - ②「A に~してくれと頼む」は askA to …。したがって空所は to で始まる。「私を降ろす」は <u>let me off</u> とする。let はこのように、補語の位置に副詞がくることも多い。 *cf. let* them aboard(彼らを乗車させる)

Don't *let* me down. (私をがっかりさせないで。)

to let me get off とした人もいるかと思うが、この文面からエレベーターの中にいる状況と推測される。「エレベーターから降りる」は get out of an elevator、「エレベーターに乗る」は get into an elevator なので、to let me get off は不可。

③「これは決して笑い事ではない」の部分を英語にすればいい。時制を一致させなく てはならないので、過去形にする点に注意すれば、

this was | no laughing (joking) matter

no joke

not a laughing (joking) matter

not a joke

no funny

we could not simply (just) laugh it off (and forget it)

と表現できる。

④「思ったより早く」の「早く」は、「予定の時刻よりも早く」ならば earlier、「予定の時間よりも短い時間で」なら sooner。

「思っていた」とは過去以前のことだから、過去完了形を用いると考えるのが論理 的だが、口語では、過去形を用いるケースも多い。したがって、

earlier than we had expected

earlier than we expected

sooner than we had expected

sooner than we expected が可能。

⑤「仲良くやる」は get along [on] well, hit it off などで表現できる。get along [on] well with, hit it off with のように with をつけたら, each other を後続させる必要がある。

 $\emph{cf}$ . Mr. Tsuji and Mr. Nakayama  $\emph{hit it off}$  with each other.

(辻さんと中山さんは意気投合した。)

(2) ①「私は丁度彼と電話で話したばかりだが、彼はとても怒って ()。」選択肢の中で up が後続するのは hang up と lie up の 2 つ。

- hang up は「(電話を切るため) 受話器を置く;電話を切る」
- lie up は,「長く病床に就く;姿を隠す」
- の意なので、ここでは hung up が適当。

hang は「絞首刑にする(なる)」の意のときは hang – hanged – hanged と活用するが、それ以外では、hang – hung – hung と活用するので、ここでは hung がくる。 ※ なお、「私は話し続けたいのに相手が一方的にガチャンと切った」という意味を明確に出したければ、on me をつけて hung up on me とする。この on は、盲点の 1 つで、'攻撃・迷惑を与える対象'を表す。

*cf.* I have something *on* him. (彼について不利な秘密〔情報;証拠〕を握っている。) His wife died *on* him. (彼は奥さんに先立たれてしまった。)

- ②「私がソファに( )ていると彼が突然入ってきたので驚いた。」 on the sofa とあるのだから選択肢からもわかるように「寝ていた」に決まっている。 was があるので過去進行形にして lying を入れる。
- ③「交渉は6日間( )たが、代表者達は何の合意にも達することができなかった。」 「6日間(続いた)」と考えて、lasted を入れる。
  - O last = continue for a specified period of time
  - O negotiation = discussion aimed at reaching an agreement
  - representative = (of a law-making assembly) consisting of people chosen to act and speak on behalf of a wider group
- ④「様々な要因が、事業の失敗へと()。最大の問題は、財政の支援の欠落であった。」 to に目をつけて lead to  $\sim$   $\lceil \sim$  (結果) となる」を見つける。lead の過去形 led を入れる。
  - factor = a circumstance, fact, or influence that contributes to a result
  - project = an enterprise carefully planned to achieve a particular aim
  - financial = having to do with financefinance = funds to support an enterprise
- ⑤「社長の辞任の知らせが、社内中に ( ) が、辞任の理由を正確に知るものは誰もいなかった。」

throughout the company が続くので、「社内中に広まった」と考え、<u>spread</u> を入れる。 spread は spread – spread と活用する。

- O spread = be circulated or scattered; be passed or hanged on cf. Rumors spread quickly. (噂は急に広まった。)
- o resignation = an act of resigning
  < resign = voluntarily leave a job</pre>
- O throughout = in every part of; all through; all the way through

7	$\sim$	٦
	∵-<	- 1
	$\mathbf{\mathbf{\mathcal{U}}}$	- 1

# 

複数のひよこが一緒に育てられると、生後4週目頃からけんかが生じる。それらが生後 10~12週目頃になると、弱い、つまり決断力に劣るひよこは、自分よりも強い、つまり乱暴なひよこを避けるようになっており、全羽が最も支配的なものから最も服従的なものに至るまで、一直線の序列の中に配置される。しかし、このことは社会的な階層の存在を意味しない。ひよこ1羽1羽には自分よりも上位のものと下位のものとがいるかもしれないが、このような序列体制においては、上位層と下位層とを分けるための線をどこに引こうとも、その線は完全に恣意的なものかもしれない。

注------

- $\ell$ . 1  $\diamondsuit$  chick = a baby bird; young chicken
  - $\Diamond$  rear = bring up; breed
  - $\Diamond$  develop = come into being or existence
  - ◇ the fourth week of age「生後4週間」
- $\ell$ . 2  $\diamond$  determined = having a strong will
  - ◇ learn to …「…するようになる」
- ℓ.3 ◇ rank 「階級 |
- $\ell$ . 4  $\diamondsuit$  submissive = always willing to obey someone and never disagreeing with them, even if they are unkind to you
  - < submit = give way; yield
- $\ell$ .5  $\Diamond$  may  $\sim$  but  $\cdots$  「なるほど $\sim$ だが $\cdots$ ; たとえ $\sim$ であるとしても $\cdots$ 」
  - may:譲歩
  - ◇ subordinate「従属者;下級者;部下」
- $\ell$ . 6  $\diamondsuit$  any line (that) we draw
  - may be …の主語
- ℓ.7 ◇ arbitrary = based on personal opinion or impulse, not on reason「恣意的な」

## [4]

## 

- (1) 「**全訳**」の下線部参照。
- (2) sense (3) per (4) such as (5) feed

# 

- (2) Haven't you ···? = Don't you have ···? sense = common sense; practical wisdom
- (3) an = per cf. percent (パーセント (100 につき))
- (4) ,( ) meat の形に注意。

- ,( ) ( ), meat ではないので for example [instance] は不可。したがって、such as が正解となる。ところで、A such as Bと A, such as Bとの区別は知っているだろうか。前者は、制限用法で such A as Bと同じで「Bのような A」。後者は、非制限用法で「A、例えば B」。つまり、A, such as B  $\stackrel{.}{=}$  A, for example [instance],B  $\stackrel{.}{=}$  A, including B  $\stackrel{.}{=}$  A like Bと公式化できる。
- (5) feed ~ 「~(子供・病人) に食べ物を与える」

#### 

「けしからん。」と父は母に言った。「また金がないだと。しかし週の始めに 12 ドルをやったではないか。金はどうしたのだ。」

「わかりません。なくなりました。」

「こんなに早くに…木曜までに? あり得ない。」

①「<u>仕方がなかったのです。いくらかは古い請求書の支払いに使いました。うちはジェイ</u>コブにどのぐらいだか覚えていないほど長く借り放しになっている借金があるのです。」

「しかし、今週支払わねばならなかったのか。」

②「彼はすぐそこに住んでいるのです。2カ月この方私はずっと遠回りをして家に帰っています。彼に3ドル返しました。」

「よくもそんなことができたな。お前には常識というものがないのか。それから残りはどうした。ジョシュア。」と彼は言って、激怒して私の方を向いた。「鉛筆を取って、書き留める。金が皆どこに行ったかを知らねばならん。俺は卵とバターを火曜に買った。」

「75 セントを牛乳屋に。」と母さんが言った —— こんな顔して怯えて。彼女は自分が、何か間違ったことをしてしまったと思っていたに違いない。

「それを書け。」と彼は言った。

③私は既に母さんの格子縞のメモ帳を1枚剥ぎ取って、それらの数字を丁寧に小さな枡目の中に書き入れていた。私までもが震え、何とかして非難されるのを逃れたいと思った。

「ウィリーが歯を1本抜きました。それに50セントかかりました。」

「50?」と父さんは言った。

「はい。たいていは1本の抜歯に付き1ドルです。私は彼を1人で上に遣って、それが持っている全額だと言うように言いました。そして彼が済んだ後も、下で待っていました。 恥ずかしくてザドキン先生に顔を合わせられなかったのです。」

「それは抜かねばならなかったのか。」

「その歯は虫歯になっていて周りの部分しか残っていなかったのです。ご覧になりたいですか。あの子は痛がっていました… それからあの子の散髪に使った50セントがありました。」

④ 「これからはバリカンを1丁買って、俺が自分でやろうと思っているんだ。」と父さんは言った。彼はいつもこんな決心ばかりを繰り返していた。

「ガスのメーターに 50 セント。石炭のシャベルに 20 セント。保険の徴収人に 25 セント。 アイロンの把手に 20 セント。もっと金額の大きいものは一言も言っていませんよ。例えば 肉。」

「うちは肉を食い過ぎる。肉など必要ない。とにかく俺は牛乳のスープの方が好きなの

だ。」と父さんは言った。

「私に食費を切りつめることは期待しないで下さい。」と母はきっぱりと言った。「たとえ他のことを一切何もしなくとも、子供たちに食事を与えることだけはするつもりです。」

⑤「奴らは腹を空かせているようには見えない。特にこいつは。見ればいつも物を食っている。」と父さんは言った。

私の食欲は旺盛で、1度も満足したことなどなかったように思われた。私は残り物はすべて平らげた。林檎の皮、冷めた野菜、鶏の骨を噛んで飲み込んだ。

⑥ 「もっと安上がりにする方法が分かれば。」と母さんは言った。母さんは今や非が自分 にあると認めてしまっているかのようであった。

「お前は値引き交渉が足りない。」と父は母に厳しく言った。

「そうしてお前と子供たちがいなければ、今頃どれだけの金が貯まっているか分かるか。」と父は母に向かってどなった。「1万ドルは貯まっているだろう。1万ドルだ。分かるか。そして自由な一人者だ。俺の言っていることが分かるか。」と彼はしわがれた声を張り上げて母を睨みつけた。

⑦「じゃあ出て行きなさいよ。」と言って、母は涙を流した。

#### 「そうするさ!」

父は急いで出て行った。夜であった。1時間ほど経って、煙草の火が玄関の階段の上に見えた。父は、煙草を1箱買いに行って来ただけだと大人しく私に言った。

注------

- $\ell$ . 1  $\bigcirc$  My God!: used to express surprise, horror, annoyance, etc.
- $\ell.2$   $\diamondsuit$  What have you done with it? 「金はどうしたのだ?」
  - ○do A with B (Bに関して A する) の A の部分が疑問詞 what になり、文頭にシフトした形。
- $\ell.5 \Leftrightarrow \text{help} = \text{avoid or prevent}$ 
  - ♦ some of it
  - use の目的語。
  - ♦ bill = written statement of charges
  - ♦ owe = have to pay (for something already given)
- ℓ.6 ◇ for I don't know how long (we've owed money to Jacob)「いかに長いかを私が知らない期間」
  - ○この for は前置詞。
  - "I don't know how long" が一種の名詞節を成し、for の目的語となる。
- $\ell$ . 8  $\diamond$  right = exactly; directly
  - ♦ block = the area bounded by four streets in town or suburb
  - $\Diamond$  now = up to the present
  - ◇ the long way around「ずっと遠回りして」
  - around 「よけるように回って」
    - cf. Sorry I'm late. I mistakenly took the long way around. (遅れて申し訳ない。間違えてずっと遠回りしてきてしまった。)

```
ℓ. 16 ♦ checkered = having a check pattern
     ♦ stationery = paper and other materials needed for writing
     ○ここでは,「便箋;メモ帳」。
        cf. stationary = not moving (静止した)
     \Diamond figure = (symbol for) a number
\ell. 17 \diamondsuit condemnation = being condemned
        < condemn \sim = criticize \sim
\ell. 18 \diamondsuit have a tooth out = have a tooth drawn out
\ell. 20 \diamondsuit an = per
     ♦ extraction = being extracted
        < extract = remove with effort
     ♦ send him up
     ○歯科医院は建物の2階以上にあるから up を用いている。
\ell. 21 \diamondsuit done = finished
\ell. 23 \diamondsuit it = a tooth
     \Diamond come out = be removed
\ell. 24 \diamondsuit There was nothing left of it but the walls.
     \circ it = a tooth
     \circ but = except
     ○ wall「(器官の) 内側 (←壁のようなもの)」
        cf. the stomach walls (胃袋)
ℓ. 26 ♦ be going to …: すでに決定した意向
     ♦ clippers = an instrument for clipping
        < clip = cut (something) with scissors; trim
        ※ ここでは「はさみ」ではなく「バリカン」。
\ell. 27 \diamondsuit resolve = make up one's mind; decide firmly; determine
ℓ. 29 ♦ insurance 「保険」
     ◇ flatiron「(中に石炭を入れる旧式の) アイロン」
     \diamondsuit start on = start dealing with
\ell. 32 \diamondsuit stint on = not give enough to
ℓ. 34 ♦ never ~ without …ing = never ~ but …
        cf. It's never rains but it pours.
            (雨が降れば必ずどしゃ降り。(物事はちょうどよい加減にはいかぬもの))
\ell. 36 \diamondsuit leftover = remaining; unused
        < be left over = remain when all that is needed has been used
        Ex. There was lots of food left over.
ℓ. 37 ♦ parings「むいた皮」
```

ℓ. 38 ♦ consent = agree to; give one's permission for

cf. consensus

- $\ell$ . 40  $\diamondsuit$  bargain = negotiate the terms or conditions of a transaction
- $\ell$ . 42  $\diamondsuit$  roar = say loudly
  - $\Diamond$  worth = possessing
- $\ell$ . 43  $\diamondsuit$  And (I'd) be a free man.
  - ♦ glare = look angrily or fiercely
  - ◇ a strained throat「しわがれた声」
  - strain「(「張り詰める」という意味より) 無理な使い方をする」 *cf. strain one*'s voice (声を張り上げる; あらん限りの声を出す)
  - throat = voice
- ℓ. 44 ◇ Why don't you ~?:' 提案・勧誘'
  - $\Diamond$  weep = shed tears; cry
- $\ell$ . 45  $\diamondsuit$  That's what I will do! < I'll do that!
  - will:その場での決心。
- $\ell$ . 46  $\diamondsuit$  hurry out = leave quickly
  - $\Diamond$  be gone = have gone
- $\ell$ . 47  $\diamondsuit$  glow = send out light without flame
  - - < meek = gentle; obedient; submissive

## [5]

# 

「全訳」の下線部参照。

# 

子供は人の顔を円として描く。その際子供が再生しようとしているのは、特定の人の顔の輪郭ではなく、むしろ顔、つまり顔一般の一般的な形態的特質、すなわち丸さというものなのである。丸さといえば、ふつう、1個の抽象的な概念と考えられている。そういう抽象概念として、丸さという属性は、多くの、いやあらゆる顔に備わったものだと言えるのだが、抽象に関する従来の定義によれば、どんな特定の顔も、抽象としての丸さを見た目に具体的に表示することなどできないはずだ。②とはいえ、子供の描く円は∞が無限大を表すのとは異なり、知的概念を表す単なる記号にとどまるものではない。それは1個のイメージ、つまり顔の形に共通な丸さという、誰もが認めているイメージである。⑥不可能なことが、つまり抽象的なものを目に見えるように具体的に表示するということが、成しとげられているように見える。

©子供の描く円が具体的で個性的なものであるのは、その円が表している特定の顔の写真が具体的で個性的であるのと同じことだ。といっても、そこに表現されているものはと言えば、顔の、目に見える特徴の多くが取り除かれ、丸さの構造を純粋明快に与えてくれるような形態に限定されている。したがって、個々の顔から抽出される、丸さという一般的な特質は、知的概念だけで定義できるものではない。それによって示されている特定の構造は、もとの形でははっきりとは分からないにせよ、見た目には具体的で個性的な形で提示されるも

のである。そしてこの構造からは、多くの偶然の複雑な要素がはぎ取られているのである。 構造的特質を、具体的であっても、このように純粋に提示することは、真の抽象化の要件を 満たしているように思えるのである。

①これまでの記述において「具体的」と「抽象的」という言葉を矛盾させあったまま用いてきたのは、これらの言葉が曖昧なものだということをはっきりさせるためである。もし目に見えるもの全てを、「具体的」と呼ぶとすれば、子供の描く円は、ある顔の写真とまったく同程度に具体的である。しかし、「具体的に」目に見える範囲に限ると、その円は顔を抽象化したものと説明することができるだろう。

## 

- 第1段落 ──「抽象概念 ⇔ 子供の描く円」の関係。
- O abstract = existing in thought or as an idea but not having a physical existence; not tangible
- 第2段落 ──「子供の描く円 ⇔ 実際の顔」の関係。
- abstract = take out of; extract
- 第3段落 ——「抽象 (= abstract)」という語を第1段落の意で用いれば「子供の描く円」
- は「抽象」の「具体的表現」と言い表され、第2段落の意で用いれば、それは「実際の顔」
- の「抽象」と言い表される。
- concrete = existing in a material form; that can be touched
- **注**······
  - $\ell$ . 1  $\diamondsuit$  head = the part of the body containing the eyes, nose, mouth, and brain
    - ♦ specific = definite; clearly defined; not general
  - $\ell$ . 2  $\diamondsuit$  but = instead
  - $\ell$ . 3  $\diamond$  general = ① including all; universal; widespread
    - 2 not detailed; vague; indefinite
    - ♦ namely = that is to say; to be specific
    - ♦ think of A as B
    - ◇ abstract ⇔ concrete cf. concrete (具象の)
    - ♦ as such
    - such < an abstract concept
  - $\ell$ . 4 ♦ attribute A to B = regard A as belonging to B cf. attribute (属性)
    - $\Diamond$  according to < accord = agree
  - $\ell$ . 5  $\diamond$  represent = stand for; correspond to

*cf. representation* ≒ picture

- $\Diamond$  it = roundness
- $\Diamond$  yet = nevertheless; but
- $\ell$ . 6  $\diamondsuit$  stand for = represent
  - $\Diamond$  in the way in which  $\cdots = (in)$  the way  $\cdots = as$
  - ○前の方に more than があるので, not ~ as … の変形と考える。
- ℓ.8 ◇ common to: that roundness を修飾 (= Modification)。

○「子供の描く円」と「その顔を写した写真」の具体的で個性的である程度が等しい。 ℓ. 11 ◇ which: 先行詞は the particular heads。 < stand for something  $\diamondsuit$  it = the child's circle ♦ eliminate = remove; get rid of; exclude  $\ell$ . 12  $\diamondsuit$  render = give  $\ell$ . 13  $\diamondsuit$  pure = simple; plain; unmixed  $\Diamond$  clear-cut = clear in shape ♦ thus = like this; in this way; as a result of this  $\ell$ . 14  $\diamondsuit$  define = explain the qualities of (something) cf. definition ♦ the particular structure (that) it designates O designate = specify ℓ. 16 ◇ which: 先行詞は a concrete, individual form。  $\diamondsuit$  strip A of B = rob A of B ♦ accidental = happening by accident < accident = chance  $\Diamond$  complication *cf. complicated* = complex  $\ell$ . 18  $\Diamond$  requirement < require = need; demand  $\ell$ . 19  $\diamondsuit$  contradictory < contradict = be in opposition to cf. contradiction (矛盾) ◇ forego「先行する」the foregoing で「前述のこと」。  $\Diamond$  mean = intend ℓ. 20 ◇ ambiguity < ambiguous「曖昧な」  $\Diamond$  term = word (used to express a definite concept)  $\diamondsuit$  call A B: A = everything that is ..., B = "concrete" ℓ. 21 ◇ realm = kingdom; domain < royal「王権下の土地」 [6] (2) **a** (1) a (3) **d** (4) **c** (5) a (6) d (7) c

◇ perceptually 「目に見える形で」 < perceive = notice

 $\ell$ . 10  $\diamondsuit$  no less  $\sim$  than  $\cdots$ 

Script

15

25

#### CD1 4 ~ 6

M: Excuse me, miss.

W: Yes, may I help you?

M: I'm looking for a nice gift for my nephew — a graduation present.

W: I see. And how much were you thinking of spending?

M: Oh, well, I'm not sure. Not too much, of course, but he's my godson and I would like to give him something that he would actually use, something that would last him a while, too.

W: Well, we have some very nice wallets. These here are from Italy and are made of the finest Italian calfskin. Here, feel that texture. Isn't that nice?

M: Mm, yes, it is. I rather like it myself, but it seems a bit too, I don't know, sophisticated for Johnny. I don't see him as the Italian designer type. He's more of the outdoors type. You know, he got a football scholarship to Michigan State.

W: Oh really? You must be very proud of him.

M: Maybe gloves would be better. Oh yes…. How about these? What are these light brown ones made of?

W: Kangaroo. They're imported from Australia. You won't find them in many stores on the East Coast, but they're quite popular in California.

M: Kangaroo?! I had no idea they used them to make leather. I thought they just hopped around for the tourists. Well, well, kangaroo gloves…

20 W: If you'd prefer something more traditional, what about these here?

M: Ah, those look nice, but I'm afraid to ask what they might be made of. Might be whales... or wolverines.

W: Those are pigskin. That's an American brand. They're made by a company in San Francisco called Golden Bear, after the state mascot. They're classic pigskin gloves. The design is very similar to the way they used to make them forty or fifty years ago.

M: Yes, I can see that. I believe I used to have a pair like these when I was young.

Very nice, these are.

W: If your godson loves football, I'm sure he'll love them.

M: I think you're right. How much are they?

30 W: \$129.95 plus a 5 percent sales tax.

M: Oh! That's a little high, isn't it? But never mind, you've already sold me on them.

Do you take American Express?

W: Certainly, sir. If you'll just wait a moment, I'll wrap them up for you. [368 words]

## 

男: すみません。

女:はい,何かお探しでしょうか?

男:甥っ子に何かいい贈り物を探しているのですが ―― 卒業祝いのプレゼントなんです。

女:かしこまりました。ご予算はどのくらいお考えですか?

男:いや,特には…それほど高い物でなくていいのですが,私の名付け子で,何か実用的な物で,しかも,長く使える物がいいのですが。

女:財布などはいかがでしょうか。とてもよいものを揃えておりますが。こちらはイタリア製で、最高の子牛皮です。どうぞ、触ってみて下さい。滑らかでしょう。

男:ええ、そうですね。どちらかと言うと自分は好きなんですが、ジョニーにはちょっと …何と言うか…上品すぎるみたいで。彼はイタリアン・デザインのものを着るような タイプじゃなくて、もっとアウトドア派なんですよ。フットボールのスカラーシップ でミシガン州立大学へ行くんですよ。

女:そうなのですか。ご自慢の甥御さんですね。

男:手袋の方がいいように思うんですが…そう、これなんかどうですか? この薄茶色のは何でできているのですか?

女:カンガルー皮です。オーストラリアからの輸入品なのです。東海岸ではあまり売って いないのですが、カリフォルニアでは結構流行っているんですよ。

男:カンガルー?! カンガルーで革製品を作るなんて思いもしなかった。観光客の前で 跳びまわっているだけだと思っていましたよ。カンガルー皮の手袋か…

女:もう少しトラディッショナルな物がよろしければ、こちらなどいかがですか?

男:いいですね。でも、何でできているか聞くのが怖い気がするのですが…クジラとか… クズリ\*かも…

女:それはブタ皮です。アメリカのブランドで、サンフランシスコにあるゴールデン・ベアー — 州のマスコットから取った名前なのですが — という会社の製品です。 伝統的なブタ皮の手袋で、デザインは 40 ~ 50 年前の手法と非常に似ているのです。

男:ええ、そうみたいですね。私も若い頃これと同じような手袋を持っていたように思い

ます。いいものですね。

女:フットボールがお好きなら、きっとお気に召すと思いますよ。

男: そうですね。いくらですか?

女:129.95 ドルに5%の消費税がかかります。

男: えっ, ちょっと高いですね。でも, いいです。もう買う気にさせられたので。アメリカン・エクスプレス・カードは使えますか?

女:もちろんです。少々お待ち下さい。お包み致しますので。

\* クズリ:北米産イタチ科の肉食動物(の毛皮)

## 注------

- ℓ.5 ◇ godson 「名付け子」〔キリスト教の洗礼式では、godparent (教父母) が生まれた 子の洗礼名を授け、また、その子の宗教教育を保証する〕
- $\ell$ . 6  $\diamondsuit$  last him a while < last  $\sim$  (for) …  $\lceil \sim$  (人) を… (の間) 持ちこたえさせる」 Ex. The food will last us (for) a week. (我々の食糧は1週間はもつだろう。)
- ℓ.9 ◇ finest < fine「立派な;上質な」
  - ◇calfskin「子牛皮」
  - ◇ texture「手触り; 感触」
- ℓ. 10 ◇ I rather like it myself. 「(どちらかと言うと) 自分の方が気に入っています。」
- $\ell$ . 11  $\diamondsuit$  he's more of (the)  $\sim$  (type) 「彼はむしろ $\sim$  (のタイプ) だ」
- ℓ. 12 ♦ Michigan State = Michigan State University
- ℓ. 13 ♦ You must be very proud of him. 「彼のことを大変誇りに思っているのですね。」
- $\ell$ . 14  $\diamondsuit$  What are  $\sim$  made of? 「~は何でできているのですか?」
- ℓ. 18 ♦ they used them to make leather [they は総称 (一般の人々), them は kangaroo]
- ℓ. 19 ♦ hop around「跳び回る」
- $\ell$ . 20  $\diamondsuit$  if you'd (= you would) prefer  $\sim$ 
  - if 節内でも、主語の意志を表す場合には will [would] が用いられることがある。 *Ex. If you would* listen to me, I might help you.

(もし私の言うことを聞く気があるのなら、助けてやってもよいが。)

- ℓ. 23 ◇ pigskin「ブタ皮」
- *ℓ*. 24 ♦ after ~ 「~にちなんで;~を真似て」
- ℓ. 31 ◇ you've already sold me on them < sell ~ on … 「~ (人) に…を売り込む、納得させる」

Ex. He's completely sold on the idea.(彼はすっかりその考えに感化されてしまった。)

- $\ell$ . 33  $\diamondsuit$  if you'll wait  $\sim$ 
  - if 節内でも、相手に対する丁寧な依頼を表す場合には will [would] が用いられる ことがある。
    - *Ex.* I would be very grateful *if you would* reply as soon as possible. (すぐにお返事をいただけたら非常にありがたく思います。)
  - ◇ wrap ~ (up) 「~を包む;包装する」

#### [7]

#### 

(1) a (2) d (3) d (4) a (5) e

# 

- (1)  $\ell$ . 4~5から、a であることは明らか。
- (2)  $\ell$ . 10 の an old log cabin に向かうが、 $\ell$ . 20 ~ 25 の様子から、そこには誰も住んでいないことがわかる。よって、**d** が正解。
- (3) 彼らが到着したのは、 $\ell$ .  $2 \sim 3$  の at midday から、 $\ell$ . 28 の a meal (夕食) までの間である。これに該当する選択肢は **d**。
- (4) Ben と Scott の 2 人。  $\ell$ . 15 から Jenny は馬であることがわかる。
- (5)  $\ell$ . 40以降の2人の会話から、eであることが読み取れるはずである。

#### 全訳 )

その日はほとんど、ベンはスコットの少し後ろでジェニーに乗っていた。荒れた土地では、 そのようにしたほうが並んで進むよりも楽であった。正午には彼らは馬たちを休息させて、 簡単な食事をとるために歩を止めた。

午後には、ベンはすっかり疲れ切っていた。太陽が背中に熱く照りつけており、彼はまぶ しい光に目を細めていた。ジェニーが山すその丘陵地帯を歩いている間、うたた寝するのは いとも簡単なことであった。

突然スコットは馬を止めて、ベンがそばまでやって来るのを待った。今度は何だ? 何か あったのか?

#### 「あそこを見ろよ。」

スコットは正面上の方を指差した。小高い丘の斜面に、古い丸太小屋があった。

「誰もいないみたいだ。」ベンが言った。

「そうかもしれないな。」

2人は数分間小屋を眺めていたが、人が暮らしている様子はまったくなかった。

「さあ、見に行こう。」スコットが言った。

馬を引いて、ごつごつとしたむきだしの岩群の上を彼らは小屋まで歩いて行った。

小屋に近づくにつれて、それが1部屋だけの掘っ立て小屋だということがわかった。丸太から垂れ下がる樹皮の切れ端のせいで、小屋は継ぎが当てられて引っかかれたように見えた。 野生のぶどうのツルが、小屋の側面を屋根まですっぽりと覆っていた。

「よぉ、掘っ立て小屋。」スコットは大声を張り上げて、返事を待った。

しかし、まったく返事がないので、2人はさらに進んだ。潅木に馬をつないで、中へと入って行った。ドアはぐらついていて、無理やり押し込んで閉められているので、持ち上げて開けなければならなかった。小屋の中では、窓に吊るされている袋の残骸を引き降ろさなければならなかった。

中は暗くて汚く、こちこちに固まった土間があった。低い屋根の片側には、煙の通気孔があった。彼らが中で見つけたものと言えば、いくつかの空になった瓶や缶、それに壊れたオーク材の椅子が1脚だけであった。

「ベン、今夜は屋根のあるところで眠るっていうのはどうだ?」

「いい気分転換になるだろうよ。」ベンは歯を見せてにやりと笑った。

食事を作って食べ終えると、彼らは小屋の扉の外に腰を下ろした。太陽は今にも山々の後ろに沈もうとしているところであった。虫たちが夜を過ごす場所を探し求めて飛び回っていた。小屋の傍らでは馬たちが短い草をもぞもぞかじっていた。穏やかな微風が、灼熱の太陽の下で長い1日を過ごしたスコットとベンの火照った身体を冷やしてくれた。

「信じられないくらいのどかだ。」スコットは言った。

ベンはこれまでに味わったことのないような気分だった。とても静かで、奇妙な感じがしたが、どこか心地よかった。どういうわけかそこに座っていると彼は幸せを感じた。彼には、年老いた馬、馬よりも古い鞍、時代遅れの銃、色あせて穴のあいた服、かかとの磨り減ったブーツしかなく、無一文だったが、幸せだと感じたのであった。

彼は隣に座っている友達を見た。長身で細身、帽子を浅めにかぶり、カールした髪を額に垂らし、真っ黒に日焼けして、清潔ではあるが埃まみれのリーバイスを履き、皮のジャケットを着て、すばらしい銃を持っている。ここでベンは真の友達を見つけたのだ。どんな所へも一緒について行ける友達を。

「例の列車のことだが。」スコットが言った。

「そのことを考えていたんだ。」ベンは言った。

スコットは棒切れを拾って、地面に線を描いた。

「よし。問題はこうだ。これが機関車。後ろには、機関車用の水と薪を積んだ炭水車。そ して炭水車の後ろが、我々がバンと呼ぶ急行貨物用貨車だ。金銀の積荷があるところだ。」

「あるいは現金。」

「そう、金があるかもしれないな。バンの後ろには、有蓋貨車が2,3両。これは牛馬用だ。 そして、最後に客車がたぶん2両ある。」

2人は、スコットが地面に描いた線に目をやった。

「さあ、ベン、俺たちがやらなきゃならないことは、あのバンに潜り込むことだ。そして、カーバーシティを出発してからブラックロックトンネルに到着するまでにそいつをやらなければならない。この2つの場所の間に、トレインタンクでの給水停車が1度ある。まず客車に乗り込んだと考えよう。そこからバンに入り込み、金を持ち出し、このトンネルに着く前にずらからなくちゃならない。」

「バンに見張りはいるのか?」

<u></u>

- $\ell$ . 1  $\diamond$  ride = sit on an animal, especially on a horse, and make it move along
- $\ell$ . 2  $\diamond$  rough = having an uneven surface = not smooth
  - $\diamondsuit$  country =  $\boxed{U}$  (often with a preceding adj.) area of land (esp. with regard to its physical or geographical features) : rough, marshy, etc. country
  - $\Diamond$  side by side = next to each other
- $\ell.5 \diamondsuit$  against = with the background of or compared to; in preparation for
  - ♦ glare = a very bright, unpleasant light which hurts your eyes
  - $\Diamond$  doze = to sleep lightly for a short time

- $\ell$ . 6  $\Diamond$  foot-hills = one of the smaller hills below a group of high mountains
- $\ell$ . 7  $\diamond$  come up to = to reach as far as a particular point
- $\ell$ . 10  $\diamondsuit$  On the side of the hill was an old log cabin
  - 文頭に副詞句が出た倒置形。
  - O cabin = a small house or shelter, usually made of wood
- $\ell$ . 11  $\diamondsuit$  Looks empty = It looks empty
  - O empty = with no people inside
- $\ell$ . 12  $\Diamond$  Could be. = It could be so. 「そうかも。; もしかすると。」
- $\ell$ . 13  $\diamondsuit$  there was no sign of life
  - O sign of = an event, an action, a fact, etc. that shows that something is happening or may happen in the future
- *ℓ*. 14 ◇ come on 「さあさあ;さあ行こう」
- ℓ. 15 ♦ Leading their horses, they walked over the rough outcropping of rock to the cabin
  - Leading their horses:分詞構文
  - O outcrop = a large mass of rocks that stands above the surface of the ground
- $\ell$ . 16  $\diamondsuit$  a simple one-roomed shack
  - O simple = plain
  - shack = a very simple and small building made from bits of wood, metal or other materials
  - ♦ Pieces of bark hung from the logs making it look patched and torn
  - O bark = the outer covering of a tree
  - making it look patched and torn:分詞構文
  - it = the shack
  - patched = repaired by adding a new piece of material to something
  - O torn = damaged
- $\ell$ . 17  $\diamondsuit$  Wild grape-vine covered the end of it up to the roof
  - O wild = living in a natural state, not changed or controlled by humans
  - O grape-vine = a climbing plant on which grapes grow
  - $\circ$  it = the shack
- $\ell$ . 20  $\diamondsuit$  There was no answer so they went on
  - so = used to give the reason why something happens, why someone does something etc.
  - there was no answer が '根拠', they went on が '帰結'を表す。
- $\ell$ . 21  $\diamondsuit$  The door was shaky and jammed closed
  - shaky = lacking stability
  - jam = to push something somewhere using a lot of force, or to push too many things into a small place
  - they had to pull down the remains of sacks which were hung at the windows

- O sack = a large bag made of strong rough cloth or strong paper
- which = the remains of sacks
- $\ell$ . 24  $\diamondsuit$  A few empty bottles and cans and a broken-down oak chair were all they found inside
- ℓ. 27 ♦ Be a nice change. ≒ It'll be a nice change. 「いい気分転換になる」
- $\ell$ . 28  $\Diamond$  The sun had just about made up its mind to go down behind the hills
  - just about = almost
  - O make up one's mind to ··· = decide to ···
  - O go down = to drop below the horizon; set
- $\ell$ . 30  $\diamondsuit$  nibble = to take small bites of something, especially food
- $\ell$ . 31  $\diamondsuit$  breeze = a gentle wind
- $\ell$ . 32  $\diamondsuit$  Mighty peaceful
  - mighty = (with adjectives and adverbs) very
  - O peaceful = quiet and calm
- $\ell$ . 33  $\diamondsuit$  homely = simple and good = (of a place) making you feel comfortable, as if you were in your own home
- $\ell$ . 34  $\diamondsuit$  nothing but = only
- $\ell$ . 35  $\diamondsuit$  saddle = a leather seat for a rider on a horse
  - ♦ out-of-date = old-fashioned
  - ♦ down-at-heel = worn out from long use or neglect; dilapidated
- ℓ. 37 

  Long and lean, with hat pushed back, curly hair over his forehead, deeply sunburnt, clean-but-dusty levis, leather jacket and that wonderful gun
  - ○前文中 his friend sitting beside him を描写している。
  - O lean = thin and fit
  - O dusty = covered with dust
- $\ell$ . 39  $\diamondsuit$  One that he could follow anywhere
  - $\Diamond$  one = a real friend
  - ◇ that: one を先行詞とする関係代名詞。
- $\ell$ . 42  $\diamondsuit$  dust = the surface of the ground
- $\ell$ . 43  $\Diamond$  Behind is the tender with the water and wood for the engine
  - Behind が文頭に出た倒置形。
  - O tender = part of a steam train used for carrying coal and water for the train
  - O with = having
- $\ell$ . 44  $\Diamond$  Behind the tender is the Express car which we call the van
  - Behind the tender が出た倒置形。
  - which = the Express car
  - O van = a railway carriage with a roof and sides, used especially for carrying goods

- $\ell$ . 45  $\diamondsuit$  That's where the gold or silver shipment will be
  - ○関係副詞 where は、形容詞節を導いて先行詞に結合する働きを持っているが、ここでは先行詞が省略されて名詞節を導いている。
  - O shipment = a load of goods that are sent from one place to another
- $\ell$ . 48  $\diamondsuit$  These are for cattle or horses
  - = These are intended to be used for carrying cattle and horses
  - O cattle = cows and bulls that are kept as farm animals for their milk or meat
  - $\Diamond$  coach = one of the parts of the train in which the passengers sit
- $\ell$ . 51  $\diamondsuit$  we have to do that : that  $l\sharp$  get inside that van $_{\circ}$
- $\ell$ . 55  $\diamondsuit$  guard = someone whose job is to guard a place, person, or object in order to protect them from attack or from thieves

# 添削課題

# 

I think the killing of animals is only justifiable when it satisfies genuine human needs and is limited. Food is obviously one of those needs, but human populations have grown to the extent that hunting and commercial fishing have endangered many species and in fact disturbed the balance of nature itself. What is worse, many fish and animals are killed and not even eaten. [64 words]